

単独処理浄化槽転換加速モデル事業等（公共事業）

（１）事業の概要

単独処理浄化槽から合併処理浄化槽へ転換することが喫緊の課題となっている。平成21年度当初予算では、単独処理浄化槽の転換事業は市町村設置型のみが助成対象となっているが、今回の補正予算により、個人設置型にも対象を拡大し、国費により2分の1の助成を行い、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換を促進する。

また、低炭素社会対応型浄化槽集中整備事業の対象市町村数を拡大し、低炭素社会に向けた省エネルギー型浄化槽の整備を促進する。

（２）事業実施主体 市町村（補助率1/2）

（３）予算額 1,003百万円（事業費20億円）

単独処理浄化槽転換加速モデル事業等(公共)

[平成21年度当初予算]

浄化槽整備区域促進特別モデル事業

事業期間:平成21年度から3年間

助成率:1/2

事業内容:

浄化槽集中整備事業

(浄化槽汚水処理人口普及率を一定以上向上させる)

高度処理型浄化槽集中整備事業

(高度処理型浄化槽により特に水質の保全を図る)

単独処理浄化槽集中転換事業

(一定以上の単独処理浄化槽を合併処理浄化槽へ転換)

防災拠点浄化槽集中整備事業

(災害時の避難所となる施設における浄化槽の整備)

低炭素社会対応型浄化槽集中整備事業

(低炭素社会に向けた省エネ型浄化槽の整備)

[平成21年度補正予算]

単独処理浄化槽転換加速モデル事業等

・単独処理浄化槽集中転換事業の
助成対象を個人設置型に拡大

・低炭素社会対応型浄化槽集中整備
事業の対象市町村数を拡大

単独処理浄化槽転換の促進
省エネ型浄化槽の普及促進